

# 探鳥会スタッフ通信

2024年  
2月号

「探鳥会スタッフ通信」は、探鳥会の考え方や様々な運営手法について、全国の連携団体の探鳥会リーダーの皆さまと情報交換を行うための通信です。

## 目次

- ◆俳句探鳥会体験記・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- ◆普及室からのお知らせ
  - ・4月開催の「初心者向けバードウォッチング」実施概要をお送りください・・・・・・・・・・3
- ◆2023年度秋期「初心者向けバードウォッチング」結果一覧・・4
- ◆探鳥会開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・5  
(2023年12月分)
- ◆探鳥会保険集計結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・7  
(2023年12月分)
- ◆今月の購読者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
- ◆探鳥会スタッフ通信の無料配信について・・10
- ◆編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

## ◆俳句探鳥会体験記

2023年1月号の探鳥会スタッフ通信に掲載された、増田徹さん(日本野鳥の会東京)の「詠んで楽しむ探鳥会(俳句探鳥会)を実施しました」という記事をご記憶でしょうか?

<https://www.wbsi.org/info/shibu/tancho/staff202301.pdf>

以前から野鳥誌で俳句特集が組まれたりしているのを見て、バードウォッチングと俳句は相性がいいんだろうなとは思っていましたが、実際に自分で俳句を作ったことがなかったので、今一つ実感がわいてきませんでした。

そこで、記事が掲載されてから一年後の2024年1月、再度開催されると聞いたので、実際に参加して俳句づくりを体験してこようと思い立ちました。

### ■探鳥会の概要■

【日 時】2024年1月13日(土)10時~15時

【主 催】日本野鳥の会東京

【会 場】東京港野鳥公園(東京都大田区)

【参加者】9名

【スタッフ】4名

【スケジュール】

10:00 オリエンテーション

探鳥会

12:00 昼食

13:00 俳句作り

14:00 俳句発表会

14:30 まとめ

14:45 終了

### ■季語ってなんだ?■

今回は前半は普通の探鳥会ですが、午後からは俳句を作ることになります。そこで、探鳥会の冒頭に、俳句作りの基礎となる「季語」についての説明がありました。俳句には必ず季節を表す「季語」を入れるというルールがあります。この季語は、季節を表してい

ばなんでもいいのかとと思っていたのですが、そうではありません。俳句を詠む方々の中にある共通の言葉を選ばなければならないそうです。そこで季語を集めて編纂された歳時記が発行され、この歳時記を見ながらそのときの心情にあう季語を選んで使っているのだそうです。

前回の増田さんの記事の中でも触れられていますが、今回もこの季語をめぐって面白いお話がありました。歳時記には8000語の季語が掲載されていますが、この季語が実際に鳥を見ている人たちの季節感とズレがあるとのことなのです。例えば、ツグミは関東のバードウォッチャーの間では冬を告げる鳥という認識を持っている人が多いと思いますが、俳句の世界ではツグミは秋の季語なのだそうです。実際に先生に倣って俳句を3年くらい勉強しているという参加者の方、この方はバードウォッチングもされているのですが、「このギャップが難しいんですよ。」と説明してくれました。

なぜ俳句の世界でツグミが秋の鳥なのかはわかりませんが、もしかしたら関東よりも早くツグミの姿が見られる北海道や東北地方の視点が入っているのか

もしれないと思いました。もしご存じの方がいらっしゃったらご教示いただくと嬉しいです。

また、ヒヨドリは、晩秋を表す季語だということも初めて知りました。ヒヨドリは一年中いる鳥でとくに季節を感じる鳥ではないと思っていましたが、言われてみれば確かに 10 月から 11 月にかけてヒヨドリは移動するので近所の公園はヒヨドリの声でにぎやかになります。また、市街地でヒヨドリが繁殖し始めたのは 1970 年代に入ってからといわれていますので、それ以前のヒヨドリは秋から冬にしか見られない鳥だったのでしょう。ヒヨドリの習性の変化に季語が取り残された可能性もあるのではないかと思います。

このように考えていくと、そもそも季節感というのはその人の住んでいる場所やその時の時代によって違ってきます。それを季語として、俳句の共通のルールにしているあたりにやや無理があるのかもしれないと門外漢の私は思いました。バードウォッチャーが「俳句の季語が実態とあわない」と感じているという話は、いろいろ面白い視点を提供してくれているように思いました。

#### ■自然観察のトレーニングとしての俳句■

さて、探鳥会の話に戻ります。この日の探鳥会は、午後から俳句を作らなければならないことがわかっているのです。いつもよりこまめに観察したことをメモに取るようにしました。メモの中身は、鳥の種名、行動の他に、その鳥がいた周りの状況がどうだったか、それを観察して自分はどう感じたかななどをスマホのメモ機能を使って記録していきました。いつもなら鳥の種類を確認してそのまま通り過ぎるところを、時間をかけながら一つ一つ言語化していきます。すると、いつもなら気にならなかった鳥のしぐさや表情、鳥がいる景色そのものが目に焼き付き、やり始めてすぐに「これは自然観察の良い練習になるな」と思いました。

また、いつもとまったく違っていたことは、観察しながら先ほど説明を受けた「季語」を何にするかをその場で考えて記録したことです。季語は、鳥の名前に限りません。俳句を作るときにはこれらの季語の中からピッタリくる言葉を選んでいくわけです。

#### <時候>

年の瀬 - 小春 - 大晦日 - 年越し - 短日 - 節分 - 除夜 - 小寒 - 大寒 - 師走 - 霜月 - 立冬 - 神無月

#### <天文>

雪 - 初雪 - 小春日和 - 厳冬 - 氷・氷柱 - 霜・霜柱 - 樹氷 - 吹雪 - 空風 - 寒波 - 北風 - 時雨 - 冬霧 - 雁渡 - 寒昂 - 冬北斗

#### <植物>

冬菊 - 寒椿 - 山茶花 - 帰り花 - 落葉 - 木の葉 - 枯葉 - 枯木 - 枯れる - 水仙 - 麦の根 - 冬木 - 葉牡丹 - 柊 - シクラメン (Wikipedia より)

私の場合は、季語を考えるのを後回しにしてしまうと、後でその時の情景を思い出すことができず季語を選べなくなってしまっているのでその場で考えてメモをするようにしました。

ただし、このあたりのやり方は、人によって違うようです。増田さんは、写真で撮影しておき、あとで写真を見ながら季語を決めて俳句を考えるのだとおっしゃっていました。たしかに探鳥会は集団行動なので、その場で長時間考え込んで全体の進行のペースを乱す可能性を考えると写真方式の方が現実的かもしれません。

#### ■私が詠んだ句■

私が探鳥会の中で観察して詠んだ句をご紹介します。人生で初めて詠んだ句ですので、俳句になっていないかもしれませんが、恥を忍んで公開します。

・「冬枯れ木小啄木鳥むさぼるたくましさ」

探鳥会のスタート地点で、コゲラがコナラの枯れ枝を激しくつついていました。冬枯れて餌がなくなる季節に、必死になって木をつついている様子にコゲラの生きる必死さを感じて詠みました。

・「冬の池われ先飛び込む鴨よ」

ある池の縁の一画に、数十羽のヒヨドリとツグミが集まり、代わる代わる池に飛び込み水浴びをしていました。他に飛び込めそうな場所は周りにたくさんあるのに、なぜかその一角に密集して水浴びをしているのが面白く、不思議に思ったのでそれを言葉にしてみました。

・「冬の梅枯野に咲く鮮やかさ」

草地の中に植えられた梅が満開の花をつけていて、冬枯れの中で鮮やかな梅の花が目には焼き付いたのでその様子を読みました。

・「寒林にそびえ立たるビルの群れ」

東京港野鳥公園は、物流基地の中に創られた人口の自然です。冬の青い空と冬枯れた森、そしてその向こうにそびえるビルや倉庫の群れが野鳥公園の象徴的な風景に思えて詠んだ句です。

・「水涸に鶺鴒一羽呆然と」

今年の冬は雨が少なく、とうとう公園の池が干上がってしまいました。その干上がった池の露出してひび割れた地面で、ハクセキレイが一羽地面を歩いている様子に水場をなくした悲壮感を感じたので読んでみました。

・「冬空の白骨の森に川鶺鴒だけ」

野鳥公園の中にはカワウのコロニーがあります。青く澄み渡った冬空と、白いふんで真っ白になった森、そしてその中にたたずむカワウの姿がとてもシュールに見えたので詠みました。



▲参加者の集合写真

### ■俳句探鳥会に参加して思ったこと■

今回俳句探鳥会に参加して、俳句作りの体験から感じたこと考えたことをいくつかまとめておきたいと思います。

### ＜コラボ企画は底辺拡大につながる＞

まず、他の分野とバードウォッチングを掛け合わせたイベント上気になるのは、参加者の参加動機です。バードウォッチングが目的で参加されたのか、掛け合わせた〇〇の方に興味があったのか、それともその両方なのか。それによってイベントの中での話の比重にも影響してきます。今回の印象としては、両方の経験があり興味があるという方が多く、お一人だけバードウォッチングも俳句も経験がないという方がいらっしゃいました。どちらかという、「ちょっと変わった形でバードウォッチングをやってみたい」という方が多かったように思いました。また、今回リーダーを務めていた方の中には、もともと先生について俳句を習っていたところへ、俳句探鳥会に参加したのがきっかけでバードウォッチングに目覚め、リーダーになったという女性の方もいらっしゃいました。今回の探鳥会はその方のリーダーとしてのデビュー戦だったそうです。

このエピソードを聞いて、やはりこうしたコラボ企画は、バードウォッチングの楽しみ方の枠を広げ、バ

ードウォッチング人口拡大の効果があるんだなということを実感しました。

### ＜俳句は観察の密度を濃くする＞

当たり前のことかもしれませんが、俳句を作るということは他の人に発信するということが前提にあるんだなと思いました。だからこそ、少し窮屈な思いをしても他の人に季節感を伝える季語を入れるのでしょう。そして人に見せる句を作ることが前提となると、それだけ一生懸命観察することにつながります。視界に入っている風景を言語化して、その言葉がふさわしいかどうか繰り返し反芻します。すると、その情景が写真を撮影するように自分の中で固定化していくのを感じました。そして一旦固定化されるとこの情景は時間がたってもずっと頭の中に残ります。俳句についてどなたかが書かれた文章の中に、「俳句はその時見た情景をカメラのシャッターを押すように切り取るもの」と説明されていましたが、この言葉が実感できたような気がします。

### ＜俳句と定例探鳥会の意外な共通点＞

もう一つ驚いたことが、吟行の考え方が定例探鳥会と共通したところがあるということです。野外を歩きながら目に映るもの、手に触れるものを題材に句を詠んでいくことを「吟行」といいますが、この吟行の考え方にはいろいろあるそうです。今回のリーダーの方が習っている俳句の先生は、「自分の場所（フィールド）を持ちなさい」とおっしゃっているそうです。遠くへ行かなくてもいいから、同じ場所で決まったコースを歩いて俳句を詠むとテーマを見つける感度が上がり、その場所に対する見方が深くなるとのこと。それは日本野鳥の会の定例探鳥会に対する考え方そのものであり、ひいては「トコロジスト」の見方そのものだと思います。俳句と定例探鳥会の意外な共通点を見つけたような気がしてうれしくなりました。

今回の探鳥会を企画された増田さんは、今後も俳句探鳥会の可能性を広げていきたいとおっしゃっていました。

普及室では今後も探鳥会の楽しみ方を広げていく工夫をご紹介したいと思います。

(普及室/箱田敦只)

## ◆普及室からのお知らせ

### ■4月開催の「初心者向けバードウォッチング」実施概要をお送りください■

4月開催の「初心者向けバードウォッチング」の情報を募集します(ホームページ・メール広報のみ)。締め切りは、【2月29日(木)】となります。開催を予定される支部の皆さまは、実施概要をお送りください。

#### 【申し込み方法】

専用申し込みフォームに必要事項をご記入の上、お申込みください。専用申し込みフォームは各支部代表者・事務局の方、メーリングリストに登録されている方に別途、メールでお送りしております。

(普及室)

## ◆2023 年度秋期「初心者向けバードウォッチング」結果一覧

2023 年度秋期は 14 支部と計 35 か所で計画、全体で 786 名の方にご参加いただき、その内会員でない方は 554 名（全参加者の 70%）、お試し入会した方は 132 名（会員でない方の 24%）でした。詳しくは表 1 をご参照下さい。

表 1. 2023 年度秋期「初心者向けバードウォッチング」結果一覧

NO	実施日	支部	実施場所(施設等)	天気	全参加者数 (リーダーは除く)	一般参加者 (全参加者に占める割合)	お試し入会者 (一般参加者に占める割合)	リーダー数	
No.1	10月1日(日)	新潟県	山本山 山頂展望台	雨天中止	6	4 67%	0 0%	4	
No.2	10月1日(日)	石川	普正寺の森	曇り	10	10 100%	2 20%	6	
No.3	10月14日(土)	栃木県支部	勝山公園	晴れ	19	10 53%	1 10%	10	
No.4	10月15日(日)	群馬	嶺公園	雨天中止					
No.5	10月21日(土)	愛知県支部	牧野ヶ池	晴れ	5	5 100%	制度無し	5	
No.6	10月22日(日)	島根県支部	出雲大社	晴れ	24	8 33%	0 0%	1	
No.7	10月29日(日)	栃木県支部	蔓巻公園	小雨	39	11 28%	0 0%	8	
No.8	10月29日(日)	新潟県	鳥屋野潟公園(鐘木地区)	曇り	27	12 44%	0 0%	8	
No.9	10月29日(日)	佐賀県支部	佐賀県立森林公園	晴れ	13	13 100%	制度無し	0%	7
No.10	11月3日(金)	苫小牧支部	ウトナイ湖畔	曇り	19	19 100%	4 21%	6	
No.11	11月4日(土)	滋賀	甲南の里山	晴れ	14	14 100%	0 0%	3	
No.12	11月5日(日)	島根県支部	松江城山	晴れ	25	10 40%	0 0%	1	
No.13	11月11日(土)	宮崎県支部	平和台公園	曇り	22	14 64%	1 7%	7	
No.14	11月12日(日)	栃木県支部	足利渡良瀬川	曇り	35	22 63%	1 5%	8	
No.15	11月12日(日)	新潟県	鳥屋野潟公園(鐘木地区)	曇り雨	30	14 47%	0 0%	6	
No.16	11月18日(土)	愛知県支部	海上の森	曇り	33	33 100%	制度無し	10	
No.17	11月23日(木)	東京	日比谷公園	晴れ	44	44 100%	31 70%	8	
No.18	11月23日(木)	佐賀県支部	多久聖廟	晴れ	10	10 100%	制度無し	12	
No.19	11月23日(木)	滋賀	南郷	曇り	14	14 100%	1 7%	4	
No.20	11月25日(土)	栃木県支部	栃木県中央公園	晴れ	38	20 53%	3 15%	6	
No.21	11月25日(土)	東京	日比谷公園	晴れ	40	40 100%	25 63%	6	
No.22	11月25日(土)	千葉県	千葉公園	晴れ	15	13 87%	3 23%		
No.23	11月26日(日)	島根県支部	出雲大社	晴れ	28	11 39%	0 0%	1	
No.24	12月2日(土)	東京	日比谷公園	晴れ	36	36 100%	25 69%	6	
No.25	12月3日(日)	島根県支部	松江城山	曇り	18	3 17%	0 0%	1	
No.26	12月9日(土)	栃木県支部	井頭公園	晴れ	30	20 67%	1 5%	8	
No.27	12月10日(日)	滋賀	守山みさき自然園	曇り	13	13 100%	0 0%	4	
No.28	12月10日(日)	佐賀県支部	石井樋公園・多布施川河畔公園	晴れ	5	5 100%	制度無し	14	
No.29	12月10日(日)	鳥取県支部	湖山池 青島公園	晴れ	24	8 33%	1 13%	3	
No.30	12月16日(土)	愛知県支部	平針名古屋市農業センター	曇り	24	23 96%	制度無し	11	
No.31	12月16日(土)	千葉県	江戸川河川敷	曇りのち晴れ	27	26 96%	3 12%	9	
No.32	12月16日(土)	茨城県	茨城県植物園	曇り	12	12 100%	0 0%	8	
No.33	12月23日(土)	栃木県支部	永野川緑地公園	晴れ	22	8 36%	2 25%	7	
No.34	12月23日(土)	東京	日比谷公園	晴れ	41	41 100%	28 68%	9	
No.35	12月24日(日)	島根県支部	出雲大社	曇り	24	8 33%	0 0%	1	
計					786	554 70%	132 24%	208	

## ◆探鳥会開催状況（2023年12月分）

2023年12月は、64支部が268回の探鳥会を開催しました（開催回数には下見や中止、調査の回数は含みません）。

表2. 12月の探鳥会開催状況（探鳥会保険の申請結果から作成）

支部	開催回数 (回)	参加者数		スタッフ数 (人)	合計人数 (人)
		会員(人)	一般(人)		
オホーツク支部	1	20	0	1	21
根室支部	-	-	-	-	-
釧路支部	-	-	-	-	-
十勝支部	-	-	-	-	-
旭川支部	-	-	-	-	-
滝川支部	1	14	1	1	16
道北支部	-	-	-	-	-
札幌支部	3	14	164	16	194
小樽支部	-	-	-	-	-
苫小牧支部	1	2	3	1	6
室蘭支部	1	8	1	2	11
道南桧山	1	10	8	3	21
青森県支部	-	-	-	-	-
弘前支部	2	17	3	2	22
秋田県支部	5	42	14	6	62
山形県支部	1	17	0	2	19
宮古支部	-	-	-	-	-
もりおか	1	15	4	5	24
北上支部	0	0	0	0	0
宮城県支部	3	69	16	11	96
ふくしま	2	26	1	3	30
郡山支部	1	9	0	3	12
白河支部	2	4	0	2	6
会津支部	0	0	0	0	0
奥会津連合	-	-	-	-	-
いわき支部	2	20	6	6	32
福島県相双支部	-	-	-	-	-
南相馬	1	3	13	8	24
茨城県	11	94	61	19	174
栃木県支部	11	229	83	39	351
群馬	3	34	6	12	52
吾妻	1	9	8	2	19
埼玉	13	283	63	84	430
千葉県	10	116	63	42	221
東京	13	268	149	66	483
奥多摩支部	9	166	51	33	250
神奈川支部	10	154	66	32	252
新潟県	2	19	9	9	37
佐渡支部	-	-	-	-	-

支部	開催回数 (回)	参加者数		スタッフ数 (人)	合計人数 (人)
		会員 (人)	一般 (人)		
富山	2	44	40	10	94
石川	2	30	17	5	52
福井県	-	-	-	-	-
長野支部	1	17	6	2	25
軽井沢支部	1	12	7	1	20
諏訪支部	1	7	5	2	14
木曾支部	-	-	-	-	-
伊那谷支部	-	-	-	-	-
甲府支部	1	29	8	4	41
富士山麓支部	1	6	3	2	11
東富士	-	-	-	-	-
沼津支部	1	9	3	2	14
南富士支部	2	40	8	3	51
南伊豆	1	13	2	2	17
静岡支部	-	-	-	-	-
遠江支部	2	41	7	6	54
愛知県支部	15	196	32	52	280
岐阜	7	90	16	9	115
三重	5	50	17	10	77
奈良支部	4	107	1	8	116
和歌山県支部	-	-	-	-	-
滋賀	5	28	28	13	69
京都支部	13	195	11	37	243
大阪支部	20	286	55	94	435
ひょうご	3	40	31	28	99
鳥取県支部	3	38	16	3	57
島根県支部	4	49	15	4	68
岡山県支部	5	82	29	16	127
広島県支部	3	56	20	3	79
山口県支部	4	30	16	4	50
香川県支部	3	68	11	4	83
徳島県支部	5	98	11	5	114
高知支部	1	8	17	1	26
愛媛	4	51	20	7	78
北九州支部	2	29	9	3	41
福岡支部	7	121	38	18	177
筑豊支部	2	31	4	4	39
筑後支部	4	24	10	4	38
佐賀県支部	5	63	8	5	76
長崎県支部	4	21	24	10	55
熊本県支部	6	43	54	6	103
大分県支部	2	29	12	4	45
宮崎県支部	4	58	40	4	102
かごしま県支部	2	41	18	6	65
やんばる支部	-	-	-	-	-
西表支部	-	-	-	-	-
合計	268	3,842	1,462	811	6,115

備考：-は保険の申請がなかったことを示しています。(普及室)

## ◆探鳥会保険集計結果（2023年12月分）※中止と下見、調査を含む

12月は66支部からご報告をいただき、64支部で計299回の探鳥会と調査が開催され、のべ6,236人が参加されました。（探鳥会の開催回数には中止や下見の回数も含まれます。人数は参加者数とスタッフ数の合計で、中止の際の当日対応も含まれます。）

表3. 12月の探鳥会保険集計結果

支部	探鳥会		調査		合計	
	開催回数	人数	開催回数	人数	開催回数	人数
オホーツク支部	1	21	0	0	1	21
根室支部	-	-	-	-	-	-
釧路支部	-	-	-	-	-	-
十勝支部	-	-	-	-	-	-
旭川支部	-	-	-	-	-	-
滝川支部	1	16	0	0	1	16
道北支部	-	-	-	-	-	-
札幌支部	3	194	0	0	3	194
小樽支部	-	-	-	-	-	-
苫小牧支部	1	6	0	0	1	6
室蘭支部	1	11	0	0	1	11
道南桧山	1	21	0	0	1	21
青森県支部	-	-	-	-	-	-
弘前支部	2	22	0	0	2	22
秋田県支部	5	62	0	0	5	62
山形県支部	1	19	0	0	1	19
宮古支部	-	-	-	-	-	-
もりおか	1	24	0	0	1	24
北上支部	0	0	0	0	0	0
宮城県支部	7	108	3	48	10	156
ふくしま	2	30	0	0	2	30
郡山支部	1	12	0	0	1	12
白河支部	2	6	0	0	2	6
会津支部	0	0	0	0	0	0
奥会津連合	-	-	-	-	-	-
いわき支部	2	32	0	0	2	32
福島県相双支部	-	-	-	-	-	-
南相馬	2	26	0	0	2	26
茨城県	12	175	0	0	12	175
栃木県支部	11	351	0	0	11	351
群馬	3	52	0	0	3	52
吾妻	1	19	0	0	1	19
埼玉	27	458	0	0	27	458
千葉県	10	221	0	0	10	221
東京	13	483	0	0	13	483
奥多摩支部	9	250	0	0	9	250
神奈川支部	11	257	0	0	11	257
新潟県	2	37	0	0	2	37
佐渡支部	-	-	-	-	-	-

支部	探鳥会		調査		合計	
	開催回数	人数	開催回数	人数	開催回数	人数
富山	2	94	0	0	2	94
石川	2	52	0	0	2	52
福井県	-	-	-	-	-	-
長野支部	1	25	0	0	1	25
軽井沢支部	1	20	0	0	1	20
諏訪支部	1	14	0	0	1	14
木曾支部	-	-	-	-	-	-
伊那谷支部	-	-	-	-	-	-
甲府支部	1	41	0	0	1	41
富士山麓支部	1	11	0	0	1	11
東富士	-	-	-	-	-	-
沼津支部	1	14	0	0	1	14
南富士支部	2	51	0	0	2	51
南伊豆	1	17	0	0	1	17
静岡支部	-	-	-	-	-	-
遠江支部	2	54	0	0	2	54
愛知県支部	15	280	0	0	15	280
岐阜	7	115	0	0	7	115
三重	5	77	0	0	5	77
奈良支部	4	116	0	0	4	116
和歌山県支部	-	-	-	-	-	-
滋賀	5	69	0	0	5	69
京都支部	13	243	0	0	13	243
大阪支部	20	435	0	0	20	435
ひょうご	3	99	0	0	3	99
鳥取県支部	3	57	0	0	3	57
島根県支部	4	68	0	0	4	68
岡山県支部	5	127	0	0	5	127
広島県支部	4	80	0	0	4	80
山口県支部	4	50	0	0	4	50
香川県支部	3	83	0	0	3	83
徳島県支部	5	114	0	0	5	114
高知支部	1	26	0	0	1	26
愛媛	4	78	1	6	5	84
北九州支部	4	43	0	0	4	43
福岡支部	7	177	0	0	7	177
筑豊支部	2	39	1	8	3	47
筑後支部	4	38	0	0	4	38
佐賀県支部	5	76	0	0	5	76
長崎県支部	5	57	0	0	5	57
熊本県支部	6	103	0	0	6	103
大分県支部	2	45	0	0	2	45
宮崎県支部	4	102	0	0	4	102
かごしま県支部	2	65	1	6	3	71
やんばる支部	-	-	-	-	-	-
西表支部	-	-	-	-	-	-
全国	293	6,168	6	68	299	6,236

備考：-は保険の申請がなかったことを示しています。(普及室)



## ◆今月の購読者数

探鳥会スタッフ通信 2 月号の電子メール版の購読者数は、938 名です。  
各支部の購読者数は、「財団からの配信者数」と「支部からの転送による配信者数」の合計です。

表 4. 探鳥会スタッフ通信 2 月号電子メール版の購読者数

支部	購読者数	支部	購読者数
オホーツク支部	8	軽井沢支部	3
根室支部	2	諏訪	7
釧路支部	5	木曾支部	1
十勝支部	1	伊那谷支部	1
旭川支部	4	甲府支部	4
滝川支部	1	富士山麓支部	1
道北支部	3	東富士	0
札幌支部	6	沼津支部	3
小樽支部	3	南富士支部	3
苫小牧支部	3	南伊豆	2
室蘭支部	4	静岡支部	3
道南桧山	2	遠江	12
青森県支部	1	愛知県支部	46
弘前支部	4	岐阜	9
秋田県支部	5	三重	20
山形県支部	4	奈良支部	6
宮古支部	1	和歌山県支部	6
もりおか	4	滋賀	21
北上支部	3	京都支部	33
宮城県支部	39	大阪支部	30
ふくしま	7	ひょうご	21
郡山支部	1	鳥取県支部	10
白河支部	3	島根県支部	13
会津支部	3	岡山県支部	28
奥会津連合	0	広島県支部	9
いわき支部	2	山口県支部	20
福島県相双支部	0	香川県支部	7
南相馬	4	徳島県支部	7
茨城県	24	高知支部	1
栃木県支部	61	愛媛	16
群馬	28	北九州	11
吾妻	2	福岡支部	12
埼玉	40	筑豊支部	22
千葉県	26	筑後支部	7
東京	70	佐賀県支部	5
奥多摩支部	49	長崎県支部	3
神奈川支部	29	熊本県支部	13
新潟県	2	大分県支部	5
佐渡支部	1	宮崎県支部	6
富山	3	かごしま県支部	6
石川	30	やんばる支部	0
福井県	13	西表支部	1
長野支部	3	合計	938

(普及室)

---

## ◆探鳥会スタッフ通信（電子メール版）の無料配信について

---

探鳥会スタッフ通信は、支部の探鳥会スタッフならどなたでも受信できます。（無料です）

ご希望の方は、「探鳥会スタッフ通信希望」と明記のうえ、①支部名 ②担当している探鳥会名 ③お名前 ④ご住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス（パソコンやスマートフォンのアドレス）を記入し、

tancho-staff@wbsj.org へお申し込みください。バックナンバーとともにメール版を送信いたします。

配信を希望されない、メールアドレスの変更などについても、tancho-staff@wbsj.org までお知らせください。

---

## ★編集後記

---

2月4日に約9カ月ぶりのリスクマネジメント研修が開催されました。私も初めて参加し、基礎編を学びました。

先日、関東で積雪があり、雪に慣れていない東京では、転倒などで240人ほどが怪我をしたそうです。私は心

配性なので、雪が降る前の準備や、雪が降っている時、路面が凍結した時の歩き方などを調べました。おかげで転倒することもなく、やり過ごすことができました。これもリスクマネジメントの一環だなと感じました。

（普及室／阿比留あやの）

---

日本野鳥の会

## 探鳥会スタッフ通信 第131号

◆発行

（公財）日本野鳥の会 2024年2月15日

◆担当

普及室 普及教育グループ

〒141-0031

東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

TEL：03-4334-2011

（平日の火-金 10-17時）

FAX：03-5436-2635

E-mail：tancho-staff@wbsj.org

---